



羽咋市長 山辺 芳宣

## 活力にあふれ、人や自然を大切にすまちをめざして

21世紀は地方の時代だともいわれていますが、情報技術の進展による政治・経済のグローバル化や少子高齢化による人口減少時代を迎えて、地方は今、極めて厳しい環境にあると思います。本市も例外ではなく、財政基盤の安定化や交流人口の拡大策、定住人口の増加対策など、早急に取り組まなければならない多くの課題に直面しております。

本市では、昭和46年に羽咋市長期基本計画を策定して以来、10年ごとに総合計画を策定し、市民の皆様とともに、計画に掲げた基本理念と将来都市像の実現を目指してまいりました。

そして、21世紀初頭の10年間を計画年次とする第4次総合計画では、「健やかで心豊かに、自然と共生するまち」を将来都市像とし、生活道路や下水道の整備など、主に社会資本の整備による生活環境の向上を図ってまいりました。

このたびの第5次総合計画で目指す将来都市像は「活力にあふれ、人や自然を大切にすまち」として、人・もの・情報の流れる南北、東西両方向の幹線道路網を軸に、産業や歴史、教育、観光などの分野において核となる6つの拠点を設定しました。

今後は、2つの交通軸を中心に、市民と行政のさらなる協働のまちづくりを推進しながら、各拠点の均衡ある発展に向け、鋭意、取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、各地域における懇談会や市民アンケート調査、公募委員を含む多数の市民の参加を得て開催した審議会など、大勢の関係者のご協力により、本計画の策定を行うことができました。ご協力をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

平成23年3月

